

奈良県教委8人 いじめ防ぐ 授業を視察

藍住南小

奈良県教委の吉田育弘^{ひろ}教育長ら8人が18日、藍住町の藍住南小学校を訪れ、思いやりの心を育み、暴力やいじめを未然に防ぐ「予防教育」の授業を視察した。

授業では、5年生30

大学予防教育科学セン

予防教育は鳴門教育

したい」と話した。

人が日常生活で直面する身近な問題をクイズ形式で考えた。「食事の際に箸を使うか」「一緒に遊ぼうと誘われたらどうするか」などについて議論。子どもからは「箸を使うかどうかは国や地域によって異なる」「友達を仲間に入れるかどうかの判断は、文化や慣習とは関係ない」などの意見が出された。吉田教育長は「活発な討論が印象に残った。いじめの防止などの参考にしたい」と話した。

ターが開発し、藍住町は2013年度から取り入れている。本年度は徳島市、北島、那賀両町でも実施されている。
(巽佑策)



奈良県教委の職員らが見守る中、予防教育の授業を実践する児童—藍住町の藍住南小